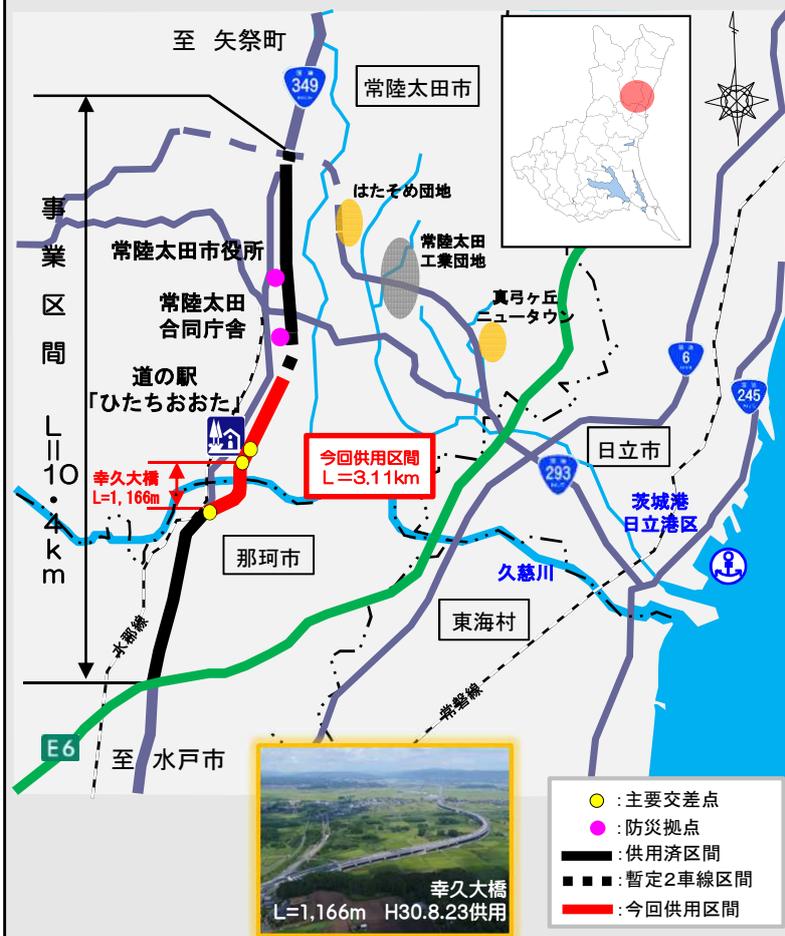


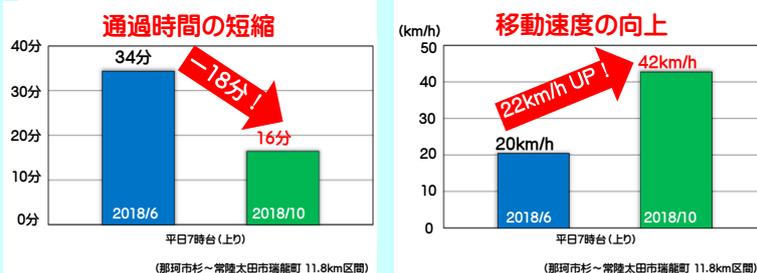
災害時における安心・安全の確保と県北地域の活性化・観光振興

— 国道349号那珂常陸太田拡幅(4車線化)【幸久大橋】 H30.8.23 供用開始 —

災害時における安心・安全の確保



4車線化による整備効果



主要交差点の渋滞解消
「下河合交差点」他主要交差点において、
渋滞長が0mに改善 (最大1,000m→0m)



災害に強いみちづくりを実現!

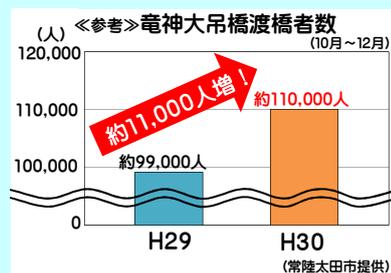
○本路線の沿道には、防災拠点である常陸太田市役所や常陸太田合同庁舎、多彩な防災設備を備える道の駅「ひたちおおた」が立地しています。大規模災害時には、常陸太田市内はもとより、久慈川を挟む近隣地域などからもこれらの拠点に素早くアクセスすることが出来るため、**緊急輸送道路として重要な役割が期待されます。**

県北地域の活性化・観光振興



○観光地へのアクセス性の向上

本路線の4車線化により、那珂ICから観光地へスムーズに移動できるようになりました。観光地へのアクセス性が向上したこともあり、観光客も増加しており、今後、観光振興による地域の活性化が期待されます。



○公共交通機関の利便性の向上

那珂市の上菅谷駅と常陸太田市の特別支援学校を結ぶ路線バス(約15km区間)は、幸久大橋を通過しています。これまで幸久大橋を中心とした激しい渋滞により、最大で20分ほど遅延してしまいましたが、今回の4車線化で、ダイヤ通りの運行に近づきました。

(茨城交通株式会社ヒアリング結果)



時間に余裕を持てる
ようになったね!